

地域の活動や自らの活動を学生さんがレポートする「まなびい探検隊」。今回は子どもとふれあう活動に取り組む様子をご紹介します。

まなびい探検隊

in 愛知県立大学



愛知県立大学サークル「子どものひろば」

愛知県立大学 北見 怜子

子どもが大好き！

私たち子どものひろばは、教師や保育士を目指しているなど、とにかく子どもが大好きな学生たちで構成されており、外部で行う訪問ボランティアと、年2回の「キッズパーク」という学内イベントを中心に活動を行っています。

外部ボランティアでは、子ども会や企業等から依頼を受け、依頼内容に沿って遊びや工作などの企画をします。そして、子ども会を訪問し、役員さんと協力しながら子どもたちとふれあいます。



大学を開放し、子どもの遊び場を提供

また、「キッズパーク」とは、愛知県立大学の校舎や体育館を開放し、ゲームや工作、おばけ屋敷、食べ物づくり、運動遊びなどをサークル員が企画し、丸一日子どもたちに遊びの場として提供するイベントです。幼児～小学生を対象とし、瀬戸や長久手を中心とした地域の子どもたちが約500人ほど遊びに来てくれます。最後には広場でサークル員と子どもたちが全員で輪を作ってダンスをし、子どもたちはサークル員の作るアーチをくぐって帰っていきます。



ボランティアに支えられて

また、このイベントは、サークル員のみでの運営は難しいため、他大学の学生や、時には高校生にもボランティアをしてもらって運営しています。毎回来てくれるたくさんの子どもたちや、お手伝いをしてくれるボランティアの方々に支えられて運営することができているため、とても感謝しています。



子どもたちの成長を より豊かに育むお手伝いをしたい

これらの活動で、私たちは、どうしたら子どもたちがより楽しめるか、危険な箇所はないかなど話し合いを重ね、企画を作っていきます。終わってから反省をし、次回につなげる努力をしています。子どもたちに楽しんでもらうことを一番に考え、その楽しさに「共感」することによって、子どもたちの成長をより豊かに育むお手伝いをしたいと思い、活動をしています。

地域の人々との連携を深めていきたい

今後、工夫・改善を重ねてキッズパークをより良いものにし、参加者を増やしていきたいと思っています。また、子どものひろばの認知度を上げて活動範囲を広げ、地域の人々との連携を深めていきたいと考えています。